

会 議 録

会議名	第2回 山陽小野田市特別職報酬等審議会
会議日時	平成29年12月21日(木) 14時～15時40分
開催場所	市役所3階 第二委員会室
出席者	梅野 裕恵委員、江田 方志委員、小松 文子委員 篠原 孝允委員、温井 允武委員、村口 達美委員 平中 政明委員、藤村 嘉彦委員
欠席者	田中 俊朗委員、長楽 飛鳥委員
事務局	総務部長 芳司 修重、人事課長 辻村 征宏、 給与係長 林 善行
会議次第	(1) 市議会議員の議員報酬の額について (2) 市長、副市長、教育長、病院事業管理者及び水道事業管理者の給料の額について (3) 選挙管理委員会の委員、監査委員、公平委員会の委員、農業委員会の委員及び教育委員会の委員の報酬の額について
会議内容	<p>【会長】 改めて資料を提出していただいた。資料を基に協議していきたいと思う。まず(1)について質問があればお願いします。 市民一人あたりの議員数については県内では8位、類似団体では23団体中18位である。</p> <p>【委員】 山陽小野田市は議員一人あたりの市民の数が2,914人である。同じ議員定数が22人で考えると多いほうにあたると思われる。議員の数を減らして、その減らした分を他の議員に振り分けすることで、一人あたりの議員報酬を上げてはどうか。</p> <p>【事務局】 議員の定数については、議会の方で特別委員会を設置して協議された。その中で、議員定数が22人という結論が出ている。</p> <p>【委員】 議員の定数は何年に一回か変えられるのか。</p> <p>【事務局】 特にそのようなことはない。</p> <p>【委員】 定数については、どの定数が正しいか分からない。少ない人数で生</p>

産性が上がれば効率性が良い。そして賃金を分配していくことの方が良い。

【委員】

定数を議論する場ではないので、こうしたら良いとかいう希望は言える。議員には退職金が出ないということで、ある程度報酬を確保してあげないといけないと思う。

市長や副市長は報酬の額を比較すると真ん中ぐらいにいるが、議員報酬は他市と比較すると低い状況である。

【委員】

他県では、議員の定数割れがあり、報酬が低いと言われている。やはり一定の報酬がなければ、やる気が起きないと思う。報酬を上げることで、それなりの仕事をしてもらえば良いと思う。

【会長】

議員については、現在10%カットされているが、減額前であれば類似団体では真ん中ぐらい、しかし減額するとかなり低い状況である。

【委員】

報酬が上がれば、やる気につながると思う。先行投資をしなければ、議員の士気も上がらないと思う。市議会議員がどんな仕事をしているのか、正直分からないところもある。

【委員】

財政状況が悪いので、市長、職員は給料のカットをしてきた。ただ、財政状況がある程度回復したため、職員のカットはなくなったと聞いている。資料を確認すると、類似団体で見れば、議員報酬は低いように思う。職員の給料カットが廃止されている現在、財政状況が少しは良くなったと思われるがどうか。

【事務局】

今回、資料を提出しているが、財政計画を見てもらうと、以前は市税が100億円近くだったが、今ではそこまで市税として歳入がない。

【委員】

どうにかして、議員報酬のカットを少なくしてあげた方が良くと思う。

【委員】

予算は、本当に必要な事業等に措置すべきだと思う。全国的に見ても、人口減少は深刻的である。予算措置からも、議員報酬が現在のままカットされているのが妥当かどうか意見はあるか。

【委員】

報酬額は条例で決まっているので、カットをするか考えるのか。

【事務局】

報酬額については、カットする前の額を協議してほしい。

【委員】

前回、政務調査費がかなり少ないことを協議したと思う。それについては、協議してからどうなっているか。

【事務局】

その時、議会事務局に話をしており検討されている。そのことについては、議会に一任している。

【会長】

議員の報酬についてであるが何か意見はあるか。

【委員】

議員は選挙立候補する時に、議員報酬は確認しているはずである。それを考えると、現状で良いのではないか。

【委員】

議員の生活があり、ずっと減額しておくのはどうだろうか。財政が少しでも良くなったのであれば、カットを廃止してはどうか。

【委員】

定数が減れば、現在よりも上乘せしてあげれば良いと思う。

【事務局】

この会議で審議される報酬等については、市長へ答申する中で、最終的に市長が判断することとなる。

【委員】

今の状況では、議員報酬自体を上げることは難しいと思う。

【委員】

先ほど議論しているが、報酬について何が本来なのかが分からない。今の報酬が果たして妥当なのか、カットするかしないかを決めるか分かりづらいところがある。

【事務局】

審議会として、この金額が妥当であると設定してもらって構わない。

【委員】

一つの考え方として、類似団体23団体の下から3分の1である16位ぐらいの金額で良いではないかと思う。

【事務局】

現在、報酬をカットしていることで、減額効果として1260万円程度の効果がある。1%の減額で考えると約126万円である。

【委員】

全てを戻すことは難しいと思うので、カット率を段階的に復元していくことが良いのではないか。とりあえず5%カットにした報酬とする。

【会長】

類似団体で市長の給料をカットしている団体はあるが、議員の報酬をカットしている団体はないように思われる。また、次回に意見があればまとめていきたい。続いて、次第の(2)市長、副市長、教育長、病院事業管理者及び水道事業管理者の給料の額について意見はあるか。

【委員】

市長、副市長等は期末手当も高いし、退職手当も類似団体と比較

	<p>して高水準であるため、カットしても低い方とは思わない。</p> <p>【事務局】 県内ではあまり高い方ではないが、全国的に見ると少し高い支給水準になっている。</p> <p>【会長】 資料を見ると、県内では6位ぐらいである。給料月額の他に期末手当や退職手当等の資料も確認して次回意見をいただければと思う。</p> <p>【事務局】 今回は農業委員会事務局の職員を出席させ、新しい農地利用最適化推進の係る制度の説明をしてもらう予定である。農業委員の報酬に関係してくるので、審議会でも協議してもらうことになると思う。</p>
--	--